

「荒川・下水道フェスタ2017」活動報告

○概要

埼玉県と埼玉県下水道公社の主催による「荒川・下水道フェスタ2017」が、10月21日（土）に荒川水循環センター（埼玉県戸田市）で開催され、NPO 21世紀水倶楽部（以下、当会）も昨年に引き続きブースを出展した。当日は台風21号が関東地方に接近しあいにくの雨であったが、会場には2,467人が訪れた。当会は「下水道宝物さがし」というテーマで会員7名が来場者への説明を担当した。

○展示内容

下水道の中にかくれている宝物（資源・エネルギー）が、我々の生活や社会に役立っていることを知ってもらうために、「下水道宝物さがし」というクイズを出題し266人に答えてもらった。

クイズは、「下水道の中に A 固形燃料、 B 再生水、 C 下水熱 の宝物がどこにかくれているか？」という問題で、ブース中央に展示した大型パネル（下水道のしくみ）に表示した①、②、③からそれぞれ選び解答用紙に色別シールをはってもらうことにした。

子供達には大型パネルを使用しできるだけ分かりやすく問題の説明をした。大人達も下水道から生まれる様々な資源やエネルギーに興味を示し、活用事例について具体的に質問されるなど熱心に説明を聞きながらクイズに答えてくれた。

ブースには大型パネルの他に、下水汚泥から資源やエネルギーとして肥料、燃料ができることや再生水の利用、下水道施設上部の公園としての活用等について「下水道は宝の山」という2枚のパネルを展示するとともに、埼玉県の宝物として「さいたま新都心再生水利用事業」と「下水汚泥固形燃料化事業」について具体的にパネルで紹介した。

また当会と下水道広報プラットフォーム（GKP）で募集した活性汚泥微生物の「奇跡の一枚大募集」の応募作品の展示も行った。

《下水道宝物さがしのクイズ》



下水道の中に、A、B、Cの宝物がかくれているよ？
A 固形燃料
B 再生水
C 下水熱
パネルを見て答えを
①、②、③ からえらび
シールをはってね



NPO 21世紀水倶楽部のブース



真剣に問題の説明を聞く子供達



答えのシールをはって景品をもらおう!!



ブース前の会場の様子